

第50回
高野山
夏期講座
2019

部落解放・人権 夏期講座

同時開催
フィールドワークコース
(事前講座含む)

日時 2019年8月21日(水)~23日(金) 参加費 7,500円 (参加・資料代、報告書代、税込み)

会場 高野山大学 松下講堂黎明館・体育館・201教室ほか

主催 部落解放・人権夏期講座実行委員会

8/21 開会行事 14:00~ 全体講演 14:15~17:30 8/21の全体講演1・2のみ手話通訳が入ります。

① 14:15~15:45 (90分)

パワハラ防止策の法制化と課題

職場のパワーハラスメントについては、現在、国会で法制化の審議がされています。法制化されると、事業主にパワハラに関する措置義務が課せられ、顧客からの行為についても一定の対応が求められます。法は何を求めているのか、残された法的課題は何か、職場からハラスメントをなくすために何をすればいいのかを考えます。

内藤 忍 独立行政法人 労働政策研究・研修機構
労使関係部門 副主任研究員

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

② 16:00~17:30 (90分)

外国人労働者受け入れと 多文化共生社会の実現に向けて

少子高齢化による生産年齢人口の減少傾向を勘案すると、外国人労働者の更なる増加が予想されます。改正入管法のもと、多文化共生社会に向けた法整備は焦眉の課題といえます。外国人の人権の現状を明らかにし、日本国憲法や人権条約の理念に照らした、多文化共生政策の今後の改善点を考えます。

近藤 敦 名城大学法学部教授

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

① 14:15~15:45 (90分)

部落差別解消推進法を学ぶ

部落差別解消推進法は、部落問題のみならず差別・人権の課題を考える上での基本テキストとしての価値を持っています。なぜ差別の現実は多くの市民に実感されにくいのか、差別・人権課題が社会問題であるとはどういうことなのかなど、この法律を通じて差別問題を考える基礎基本を学びます。

奥田 均 近畿大学人権問題研究所特任教授

会場：高野山大学体育館(500人)

② 16:00~17:30 (90分)

西光万吉さんから学ぶこと

水平社宣言の起草者として知られている西光万吉さんは、第2次世界大戦後、日本国憲法の前文と平和主義を規定した第9条の具体化をめざした「和栄策」を提唱し、その実現のために後半生を捧げられました。この「和栄策」がもつ現代的な意義を共に考えます。

友永 健三 一般社団法人部落解放・人権研究所名誉理事

会場：高野山大学体育館(500人)

全体講演1

全体講演2

※3日間の各日、ご自身の関心やニーズ等に応じて、受講する講座(講演)を選択ください。各会場の座席数には限りがありますので、満席の場合はご容赦ください。(8/22のフィールドワークは事前申込み制です)

※バリアフリー情報は3ページ目をご覧ください。車いすで参加される方や手話通訳等を必要とされる方など、受講にあたって支援が必要な方は、準備の都合上、7/26(金)までに事務局までお知らせください。(7/26を過ぎても可能な限り対応いたします)

※講座開催中、参加者には、高野山真言宗総本山金剛峯寺ほか一部諸堂を無料で拝観いただけます。(詳細は当日配布資料をご覧ください)

※講演の趣旨に反する行為等があった場合は、その時点で参加をお断りさせて頂く場合があります。

ぜひ涼しい服装で!

高野山大学体育館および201教室はエアコンがありません。ぜひ涼しい服装でお越しください。

8/22

①9:00~10:30(90分)

②10:45~12:15(90分)

③13:15~14:45(90分)

④15:00~16:30(90分)

課題1

包括的
差別禁止法の論点

日本においては個別法の積み上げによる差別禁止法の整備が図られていますが、諸外国は包括的な差別禁止法の制定に動いています。人権の国際化が進むなか、日本でも包括法の検討が急務となっています。

内田 博文
九州大学名誉教授

ハンセン病隔離政策によって奪われた人権
~ハンセン病回復者と家族がおかれている実態と課題~

日本における89年間にも及ぶハンセン病政策は、絶対隔離絶滅政策でした。らい予防法違憲国賠訴訟で国が断罪されたあとも、人生被害は続いています。ハンセン病問題とは何か、私たちにできることを考えます。

加藤 めぐみ
ハンセン病回復者支援センター
コーディネーター
ハンセン病関西退所者原告団
いちよの会 会員

障害者差別問題
入門

「障害者差別はあいまいでよくわからない」という人、いらっしゃい！ 障害者権利条約や差別解消法策定の中で、差別の定義が明確になってきています。実際の事例をもとに障害者差別について解説します。

佐藤 聡
DPI日本会議事務局長

雇用水増し問題と
障害者の労働
~障害者権利条約の
視点から考える~

雇用水増し問題への対応を数合わせにとどめることなく、障害のある人もない人も共に働く職場環境づくりにつなげるのが重要です。障害者の労働について、障害者権利条約の視点から考えます。

尾上 浩二
DPI日本会議副議長、内閣府
障害者施策アドバイザー

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

①9:00~10:30(90分)

②10:45~12:15(90分)

③13:15~14:45(90分)

④15:00~16:30(90分)

課題2

宝塚市の性的マイノ
リティへの取り組み
~男女共同参画推進条例一部改
正の背景と具体化への課題~

パートナーシップ宣誓制度の創設や、男女共同参画推進条例に性自認又は性的指向による差別の禁止規定を加えるなど、宝塚市の性的マイノリティの人権尊重の取り組みの背景と課題についてお話しします。

塩崎 美和子
宝塚市人権平和室長
佐伯 聡子
人権男女共同参画課長

人権と性の
多様性の尊重

LGBTブームや多様性の尊重も、具体的な取り組みがなければリップサービスで終わります。「誰ひとりとして排除されない」教育環境の整備という人権課題を取り上げ、全国の教育現場の先行事例を紹介しします。

東 優子
大阪府立大学教授

「在日」問題入門
~その歴史と現状~

今年4月に改正入管法が施行され、日本も実質移民受け入れに舵が切られました。しかし移民社会は今に始まったものではありません。「在日」の歴史から日本の「外国人」受け入れはどうあるべきかを考えます。

朴 洋幸
NPO法人多民族共生人権教育センター理事長

東京都人権条例と反差別・
人権ネットワーク運動

2018年10月に一部を残して施行された「東京都人権条例」の概要と運動団体の取組みについて報告し、今後の具体的課題や条例を広げていくための課題を考えます。条例で定められたヘイトスピーチ解消に向けた取組みの概要と運用、課題についても考えます。

近藤 登志一
部落解放同盟東京都連合会書記長
朴金 優綺
在日本朝鮮人人権協会事務局次長

会場：高野山大学体育館(500人)

①9:00~10:30(90分)

②10:45~12:15(90分)

③13:15~14:45(90分)

④15:00~16:30(90分)

課題3

インターネット差別
書き込みモニタリング入門

ネット上に氾濫する部落差別やヘイトの差別書き込みについて、尼崎市モニタリング事業の取り組みを通じて、現状と課題を考えると共に、モニタリングの方法や削除依頼の方法などを具体的に解説します。

三澤 雅俊
(公社)尼崎人権啓発協会
事務局長

差別サイト「保守速報」
から広告が消えた

差別サイトほど閲覧数が多く広告収入が入り、またサイトが増えていきます。その悪循環を断ち切るきっかけになった「保守速報」広告消滅の動きを中心にネットでのヘイト、広告問題への取り組みを報告します。

金正則
会社員
マーケティング・ディレクター

女性差別問題
入門

女性差別問題はすべての人の問題であるにもかかわらず、自分の問題になりにくいのです。その理由を明らかにし、女性差別をなくすために、女性差別問題を他人事ではない人権問題として考えます。

源 淳子
世界人権問題研究センター
囃託研究員

日本の問題である
「沖縄の基地問題」
~構造的差別と沖縄
ヘイト、フェイクの今~

軍事的・地理的理由による沖縄への基地集中の説明は既に崩壊しています。構造的差別による沖縄への押しつけが露呈した今、沖縄のヘイトとフェイクを考えます。

滝本 匠
琉球新報東京支社報道部長

会場：高野山大学201教室(330人)

8/23

① 9:00~10:30

映画

夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年

今からおよそ100年前、座敷牢に幽閉された精神病患者を救おうと奔走した一人の男がいた。日本の精神医学・精神医療の先達者、呉秀三〈くれしゅうぞう〉(1865~1932)は、助手らと日本各地にある精神障害者を収容する私宅監置(座敷牢)の実況を調査し、その結果をまとめた。彼が残したこの論文から我々は何を学ぶのか。呉秀三の生涯と報告書を通して、近代日本が辿った精神科医療と精神障害者の歴史を多角的に紐解く。(映画予告編より。2017年制作。66分)

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

部落差別の解消に向けた自治体の役割 -「自治体における同和行政に関するアンケート」結果より-

部落解放・人権研究所では、2016年12月の部落差別解消推進法の施行をうけて、全国の自治体を対象にした「自治体における同和行政に関するアンケート」を2017年に実施しました。そのアンケートの結果から、同和行政の全国的現況を明らかにしたうえで、部落差別の解消に向けた自治体の今日における役割について考えます。

棚田 洋平 一般社団法人部落解放・人権研究所 事務局長

会場：高野山大学201教室(330人)

8/22

10:45~12:15

13:15~16:30

フィールドワーク(事前講座+フィールドワーク) 高野山の歴史~「平等と差別」を中心に~

事前
申し込み制

講師：木下 浩良 高野山大学総合学術機構(図書館・密教文化研究所)課長

毎年人気のフィールドワーク。その内容を一層理解しやすくするために、事前講座も行います。この講座でしか見聞きできない高野山の魅力を解説します。

定員 50名

参加費 3,500円

(バス代、資料代、旅行傷害保険料、税込み)
※弁当は含まれません。

時間 事前講座 10:45~12:15 (第3会議室)

昼食休憩 12:15~13:15

フィールドワーク 13:15~16:30

申し込み方法 ①お名前、②ご所属、③連絡先(郵便番号・郵送先)、④電話・ファクス番号を、Eメールまたはファクスで下記申込み先までお送りください。
Eメール：koyasan@blhri.org
ファクス：06-6581-8540

申込締切 2019年7月26日(金)

※申込みが定員を超えた場合は、抽選となります。

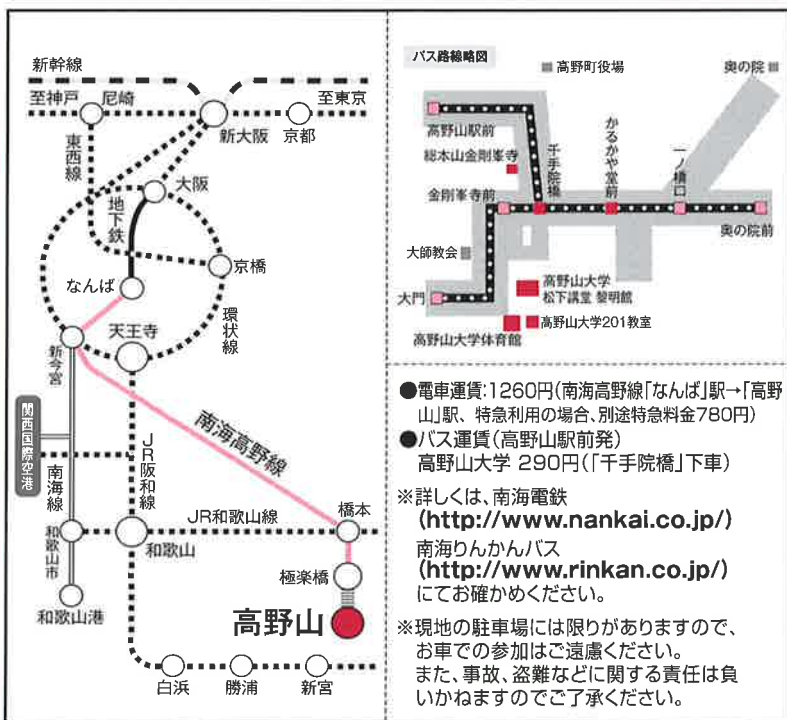
※抽選結果は、8月1日(木)までにEメールまたはファクスでお知らせします。

※参加が決定された方には、参加要領と請求書を郵送でお送りします。

※団体で複数申し込まれる場合も、お一人ずつ申し込みください。
※以前に参加したことのある方はご遠慮ください。

全体講演3

アクセス



各会場バリアフリー情報

高野山大学松下講堂黎明館

入口：自動ドア、段差なし/エレベーター：なし/トイレ：車イス対応トイレあり(男女別)/障害者対応駐車場：なし/その他：大学の校門から会場まで登り坂。介助が必要な方は事務局までお知らせください。

高野山大学体育館

入口：自動ドアなし、段差なし/エレベーター：なし/トイレ：車イス対応トイレなし(本館のトイレをご使用ください)/障害者対応駐車場：なし/その他：大学の校門から会場まで登り坂。※会場に入るには階段を使用します。そのため、車イスのまま会場内に入る際に介助が必要となりますので、事務局までお知らせください。

高野山大学201教室

入口：自動ドア、スロープあり/エレベーター：あり/トイレ：車イス対応トイレあり(1F男女共用)/障害者対応駐車場：なし/その他：大学の校門から会場まで登り坂。介助が必要な方は事務局までお知らせください。

参加者には後日、講演内容をまとめた報告書を解放出版社よりお届けします。

本講座の講演内容をまとめた報告書を、参加券に記入いただいた送付先に翌年1月頃に送付いたします。

部落解放・人権
夏期講座
実行委員会

構成団体：大阪府人権教育研究協議会、大阪市人権教育研究協議会、大阪府立学校人権教育研究会、大阪市立高等学校人権教育研究会、大阪私立学校人権教育研究会、(一社)大阪府専修学校各種学校連合会、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、堺市、堺市教育委員会、大阪府市長会、大阪府町村長会、『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議、高野山真言宗、大阪同和・人権問題企業連絡会、大阪企業人権協議会、JAグループ大阪人権啓発推進連絡会、人権啓発推進大阪協議会、世界人権宣言大阪連絡会議、部落解放同盟大阪府連合会、部落解放大阪府民共闘会議、部落解放同盟和歌山県連合会、(一財)大阪府人権協会、(一社)高野山宿坊協会、(株)ジョイックス、(一社)部落解放・人権研究所(順不同)

参加・宿泊のお申し込みは、7月26日(金)までにご所属の団体事務局にお申し込みください。

※参加と宿泊の申し込み先は、別になっていますのでご注意ください。

参加費・参加申し込み方法

参加費 **7,500円**
(参加・資料代、報告書代、税込み)

参加申し込み方法

実行委員会加盟団体のみなさま

7月26日(金)までにご所属の団体事務局にお申し込みください。

実行委員会加盟団体以外の団体の方、ならびに個人として参加される方
下記①または②のいずれかの方法でお申し込みください

- ①(一社)部落解放・人権研究所のホームページよりお手続きください。
(クレジットまたはコンビニ決済となります。)⇒<http://blhrri-shop.org/>
- ②下記の銀行口座に参加費をお振り込みください。その後、申込書に必要事項をご記入の上、振込証明書(領収書のコピー)とあわせて下記事務局まで、FAXまたは郵送にてお送りください。後日、参加券をお送りいたします。

ホームページからの申し込み

(一社)部落解放・人権研究所のホームページよりお手続きください。
(クレジットまたはコンビニ決済となります。)⇒ <http://blhrri-shop.org/>

参加費振込先

りそな銀行桜川支店 普通預金 0109213
部落解放・人権夏期講座実行委員会 ※代表 奥田 均
(アラクカハナシノケンキョウガクジョウクウイカイ)

参加申込書送付先

〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8F
(一社)部落解放・人権研究所
「部落解放・人権夏期講座」係
tel.06-6581-8576 fax.06-6581-8540

宿泊料金・宿泊申し込み方法

宿泊料金 **17,300円**(税込み)
※2泊3日・5食(2日目の昼食は弁当)の料金です。

宿泊申し込み方法

実行委員会加盟団体のみなさま

7月26日(金)までにご所属の団体事務局にお申し込みください。

実行委員会加盟団体以外の団体の方、ならびに個人として参加される方
宿泊を希望される方は、(株)ジョイックスのホームページよりお手続きいただくか、あるいは下記の申込書に必要事項をご記入の上、コピーを下記(株)ジョイックスまで、FAXまたは郵送にてお送りください。

ホームページからの申し込み

(株)ジョイックスのホームページよりお手続きください。
⇒ <http://joyx.moon.bindcloud.jp/>

宿泊料金振込先

りそな銀行新大阪駅前支店 普通預金 7011087
株式会社ジョイックス (カク)ジョイックス
※大阪府知事登録旅行業第2種1558号 代表取締役 益田大志

宿泊申込書送付先

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-8-3 新大阪サンアールビル北館
(株)ジョイックス
「部落解放・人権夏期講座」係(担当:山本)
tel.06-6390-3400 fax.06-6390-0394

◎高野山直行バス案内◎ 南海特急こうや号の指定席もご用意できます(満員になり次第締切ります)

新大阪駅→高野山(全体講演会場)直行バス運行の案内 片道**3,500円**

出発時間 8月21日(水)午前10時30分(所要約3時間)

※8/23(金)12時の復路も運行します。 ※申込等は上記(株)ジョイックスまで、お問合せください。
(株)ジョイックス ホームページ <http://joyx.moon.bindcloud.jp/>

切り取るか、コピーしてお使い下さい。

切り取り線

お問い合わせ先

講座事務局：(一社)部落解放・人権研究所 啓発企画部

TEL:06-6581-8576・FAX:06-6581-8540・E-Mail:koyasan@blhrri.org

第50回部落解放・人権夏期講座

2019年 月 日

参加申込書

名前			
所属			
連絡先(住所)	〒□□□-□□□□		
TEL	() -	FAX	() -

※正確にお書きください。なお、ご記入いただきました個人情報、講座の運営上の目的以外には使用いたしません。